

1.外部装置からのデータの取り込み

1-1. メール作成条件の設定

接続されている外部装置からデータを受信した場合、以下のいずれかの条件になった場合、データをメールとして送信します。
また、メール送信処理中は外部装置から受信したデータをすべて破棄します。

メール作成条件の設定

(1)無通信時間	0~7200 秒(秒単位で設定可能)
(2)受信サイズ	1~4096 バイト(1 バイト単位で設定可能)

RS-232C 設定

【FPT-Em】

RS-232C に関する設定を行います。

1) Flow Control	RS/CS
2) Receive Timer(sec)	3
3) Receive Max size	4096
4) Send Command Data	
5) Send Command Timer(min)	0
6) Mail Send State Notify	None
7) Error Response	Disable
Enter Number	

▼Receive Timer(sec)

受信監視タイマを設定して下さい。

0~7200 秒まで設定可能です。

工場出荷値：3 秒

▼Receive Max size

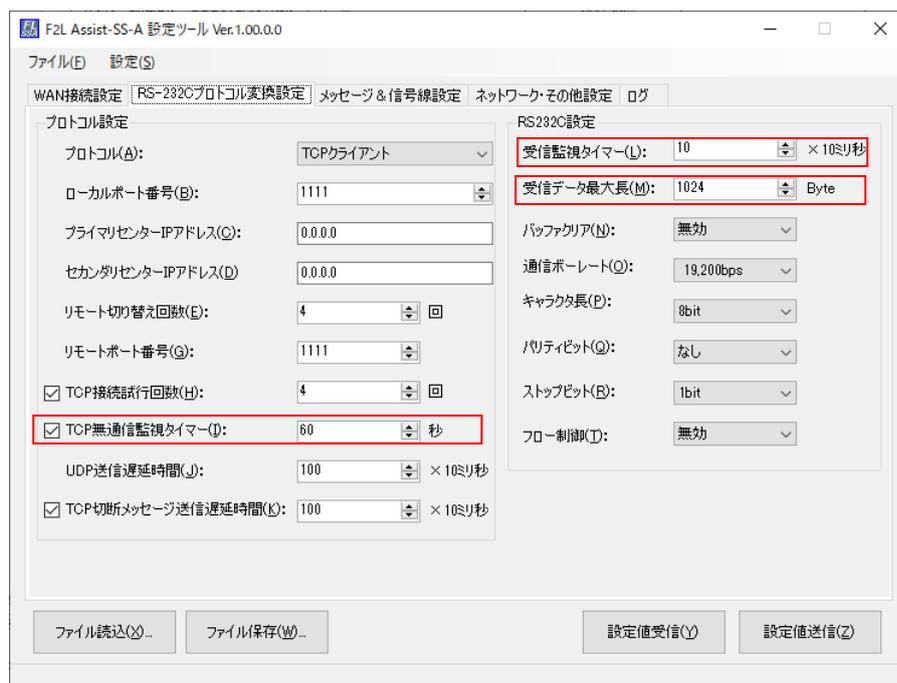
受信サイズを設定して下さい。

1~4096 バイトまで設定可能です。

工場出荷値：4096

【F2L Assist-SS-A】

RS-232C に関する設定です。



項目	説明	初期値	設定範囲
RS-232C 受信監視タイマー	RS-232C 受信監視タイマーの設定を行います。 動作は、RS-232C に接続されている外部装置から受信したデータが、この時間途絶えた段階で、網へデータ送信を行います	10×10 ミリ秒	1～6000×10 ミリ秒
RS-232C 受信データ最大長	網へ送信するデータの最大パケットサイズの設定を行います。動作は、RS-232C に接続されている外部装置から受信したデータのサイズが、設定サイズ以上の場合は、設定サイズ単位で網へデータ送信を行います。 設定サイズ未満の場合、RS-232C 受信タイマーで網へデータ送信を行います。	1024 バイト	256～1460 バイト
TCP 無通信監視タイマー	TCP 無通信監視タイマーの設定を行います。 動作は、TCP セッション確立状態において、この時間 TCP 通信が行われなかった場合、TCP セッションの切断を行います。 MIST II では TCP 切断でメールを作成します	60 秒	0 または 10～9999 秒 MIST II では 1～60 の範囲で設定してください

※FPT-Em の“受信監視タイマー”にセットされている値を F2L Assist-SS-A の RS-232C 受信監視タイマーにセットしてください。
(例)

FPT-Em の工場出荷値 (3 秒) が設定されている場合は、300 (×10 ミリ秒) をセットしてください。

※FPT-Em の“受信サイズ”が 256～1460 の場合は、F2L Assist-SS-A の RS-232C 受信データ最大長にセットしてください。
また、256～1460 以外の場合は工場出荷値 (1024 バイト) をセットしてください。

※MIST II では F2L-Assist-SS-A との TCP 接続から切断間に受信した内容を 1 メールにします。そのため FPT-EM にてデータ数でメール作成を実施していた場合は上記のように設定できる内容が異なるため FPT-EM と同様の動作ができないことがあります。

1-2. メール送信可能状態通知機能

メール送信が可能かどうかを、外部装置に対してメッセージ送信及び DR 信号状態によって通知する機能です。メール送信可能状態では、外部装置からデータを受信することが可能です。それ以外の状態で外部装置からデータを受信した場合、そのデータは破棄されます。

(1) DR 信号

メール送信可能状態通知設定で DR を設定すると、外部装置側 RS-232C の DR 信号を状態により ON/OFF させます。

[DR 信号 ON 時]

本装置は、外部装置からのデータをメール送信データと認識し、メール作成条件を満たした時点でメール送信処理を行います。

[DR 信号 OFF 時]

本装置は、外部装置からのデータを破棄します。

(2) メッセージ

メール送信可能状態通知設定で Message を設定すると、外部装置側 RS-232C へ状態メッセージを送信します。メッセージの書式は

* S T A R T *

のように、メッセージの前後を * (アスタリスク) で囲んでいます。各メッセージは以下のような意味を持っています。

[*START* メッセージ送出後]

本装置は、外部装置からのデータをメール送信データと認識し、メール作成条件を満たした時点でメール送信処理を行います。

[*WAIT* メッセージ送出後]

本装置は、外部装置からのデータを破棄します。

この状態は、*START* メッセージを送出するまで続きます。

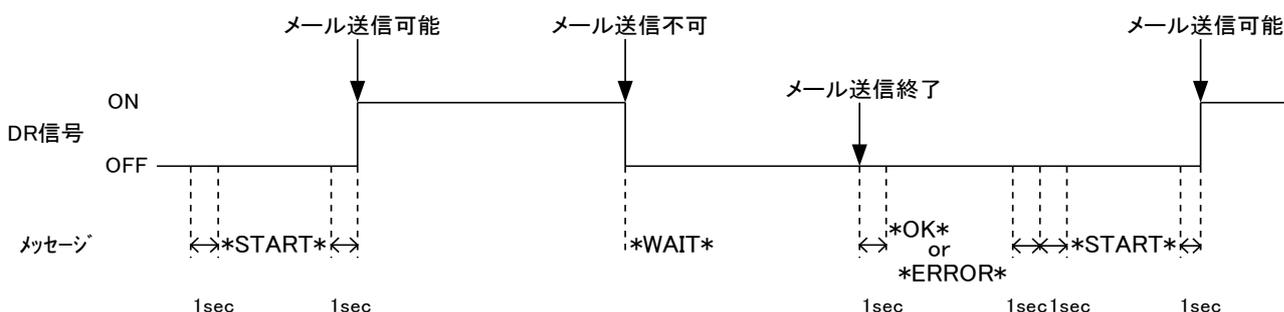
[*ERROR* メッセージ]

このメッセージはメール送信を失敗したとき表示されます。

[*OK* メッセージ]

このメッセージはメール送信が成功したとき表示されます。

下図に、メッセージ表示及び DR 信号変化のタイミングを示します。



メッセージと DR 信号の関係

メッセージ	状態	DR 信号	外部装置からのデータ入力
START	メール送信可能	ON	受信可能
WAIT	メール送信不可	OFF	破棄
ERROR	メール送信失敗	OFF	破棄
OK	メール送信成功	OFF	破棄

*WAIT*以外のメッセージ表示は前後に 1 秒の待機時間を持たせます。

DR 信号ではメール送信の成功・失敗は判断できません。

RS-232C 設定

【FPT-Em】

RS-232C に関する設定を行います。

1) Flow Control	RS/CS
2) Receive Timer(sec)	3
3) Receive Max size	4096
4) Send Command Data	
5) Send Command Timer(min)	0
6) Mail Send State Notify	None
7) Error Response	Disable
Enter Number	

▼Mail Send State Notify

メール送信可能状態通知を下記から選択して下さい。

- 1) None (使用しない)
 - 2) DR (DR 信号のみ)
 - 3) Message (メッセージのみ)
 - 4) Message + DR (メッセージ+DR 信号)
- 工場出荷値：None (使用しない)

▼Error Response

エラー応答を下記から選択して下さい。

- 1) Enable (有効)
 - 2) Disable (無効)
- 工場出荷値：Disable (無効)

【F2L Assist-SS-A】

※F2L Assist-SS-A におきましては、FTP-Em の“メール送信可能状態通知機能”がないため、この機能を使用することはできません。

F2L Assist-S メッセージに関する設定は以下になります。

項目	説明	初期値	設定範囲
本装置起動完了	本装置が起動完了した事を外部機器に知らせるためのメッセージです。	無効、*R01*	有効 無効 半角英数字 20 文字以内
接続完了	TCP 通信の場合は TCP 接続、UDP 通信の場合は PPP 確立が完了したことを外部装置に知らせるためのメッセージです。	無効、*R02*	有効 無効 半角英数字 20 文字以内
切断	切断を外部装置に知らせるためのメッセージです。 「切断無効」: 切断メッセージを送出しません。 「回線切断」: 回線切断時に切断メッセージを送出します。 「TCP 切断」: TCP 切断時に切断メッセージを送出します。	無効 *R04*	切断無効 回線切断 TCP 切断 半角英数字 20 文字以内
回線接続エラー	発信に失敗したことを外部装置に知らせるためのメッセージです。	無効、*E04*	有効 無効 半角英数字 20 文字以内

- ・ メッセージの“*”は<CR><LF>(0x0d0a)となります。
- ・ メッセージの“¥*”は“*”となります。

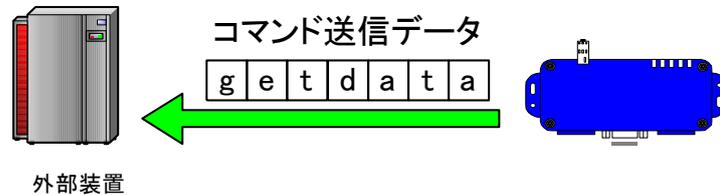
F2L Assist-SS-A のメッセージ機能を使用する場合、F2L Assist-SS-A では* (アスタリスク) を出力するには¥でエスケープしてください。

例：*START*と出力するには¥*START¥*と記述してください。

1-3. コマンド送信

本装置から外部装置に対して、コマンド(データ)を送信します。送信するコマンド、送信時間間隔は設定にて登録します。設定できるコマンドは 80 バイト以内の ASCII コード 33~126 の範囲(!"#\$%&'()*+,-./0~9;:;<=>?@ A~Z[_`a~z {|}), 送信時間間隔は 0~1440 分です。

本装置起動時、または設定した時間間隔で設定されたコマンドを端末装置に送信します。



RS-232C 設定

【FPT-Em】

RS-232C に関する設定を行います。

1) Flow Control	RS/CS
2) Receive Timer(sec)	3
3) Receive Max size	4096
4) Send Command Data	
5) Send Command Timer(min)	0
6) Mail Send State Notify	None
7) Error Response	Disable
Enter Number	

▼Send Command Data

コマンドデータを設定して下さい。

0~80 バイトまで設定可能です。

工場出荷値：NULL

▼Send Command Timer(min)

コマンドデータ送信時間間隔を設定して下さい。

0~1440 分まで設定可能です。

工場出荷値：0 分

【F2L Assist-SS-A】

※F2L Assist-SS-A におきましては、FTP-Em の“コマンド送信機能”がないため、この機能を使用することはできません。

2. データ先頭内容

次のデータ先頭の次の内容は破棄し、データベースに記載されている情報でのみ送付します。

記述	説明	記述例<CR><LF>はバイナリコード、通常の Enter キーです。
Subject :	件名	Subject : 試験<CR><LF>
From :	送信元	From : user@mopera.ne.jp<CR><LF>
To :	送信先	To : support@abc.co.jp<CR><LF>
Cc :	送信先	Cc : abc@abc.co.jp<CR><LF>